



「さいしん まちづくりファンド」の投資対象に「杉戸・宮代エリア」を追加

埼玉県信用金庫（本店：熊谷市 理事長：池田 啓一）は2024年2月22日、「さいしん まちづくりファンド」の投資対象に「杉戸・宮代エリア」を追加いたします。

当金庫では、本ファンドの取組みを通じて対象エリアにおけるまちづくりを支援し、引き続き埼玉県内における地域活性化支援に取り組んでまいります。

さいしん まちづくりファンド有限責任事業組合

埼玉県内における中心市街地活性化および歴史的建造物の保全を目的に、一般財団法人民間都市開発推進機構（以下、「民都機構」）との共同出資により、2020年2月18日に設立いたしました。

当ファンドからの出資・社債取得を通じて、リノベーション等による民間まちづくり事業を連鎖的に進め、対象エリアの価値向上を図りつつ、地域の課題解決に貢献することを目的としております。

今回のエリア追加により、投資対象は9エリア（杉戸・宮代エリア、熊谷市、北本市、草加市、越谷市、さいたま市大宮区、さいたま市岩槻区、川越市、小川町のうち一定のエリア）となります。

これまでの投資事例

施設名 : MIYATAYA BAGEL
所在地 : さいたま市岩槻区本町
投資方法 : 社債の引受

築100年超の古民家を改装し、ベーグル店を運営。



施設名 : 小川まちやど ツキ
所在地 : 埼玉県比企郡小川町大塚
投資方法 : 社債の引受

古民家を改装した自然を満喫できるお宿。ツキの他に2件の宿泊施設を運営し、まち全体を宿と見立てた「まちやど」として運営。



「杉戸・宮代エリア」について

東武鉄道 東武動物公園駅（東口：杉戸町、西口：宮代町）の半径1Kmを中心とした中心市街地及びその周辺のエリアです。

当ファンドは、行政や地域プレイヤーと連携し、増加傾向にある空き家、空き店舗等を活用した新たな商業機能の創出を目指してまいります。

《杉戸町の先行事例》

しごと創造ファクトリーひとつ屋根の下

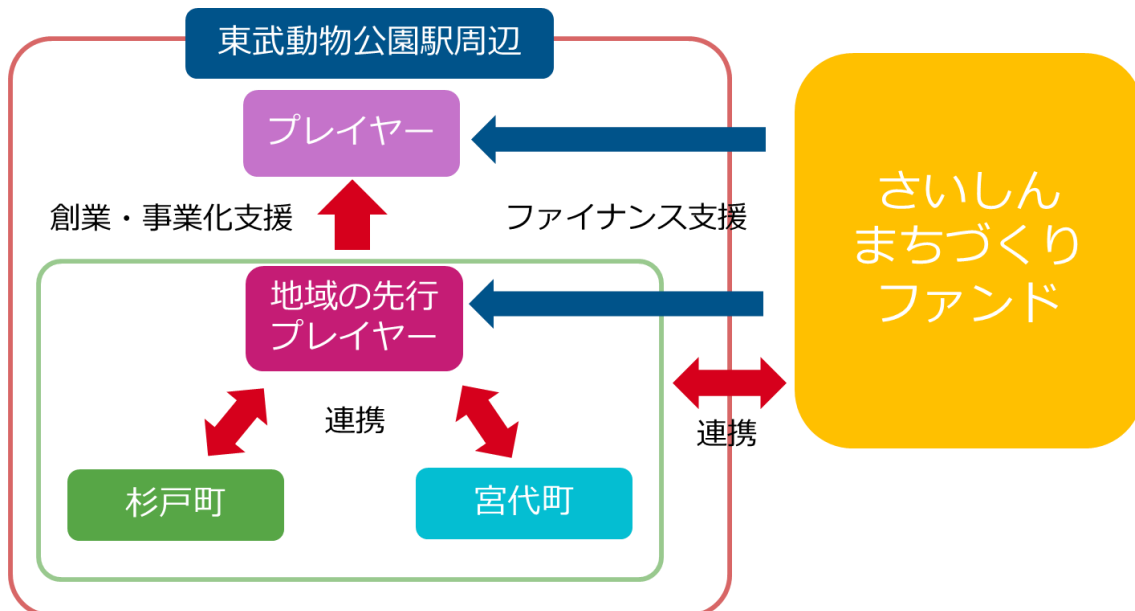
地域で仕事を創り、実践する人のための「しごとの学校」。コワーキング機能やスクール機能などにより、チャレンジを応援。

100人100通りの仕事を通して人がつながるコミュニティ拠点「100人商店街」をテーマに4月7日（日）リニューアルオープン。



しごと創造ファクトリー ひとつ屋根の下

まちづくり事業体制図



本件のお問合せ

埼玉縣信用金庫 地域創生部：平原 総合企画部：増田
電話：048-526-1111 URL：<https://www.saishin.co.jp>